



AUE News

2013年11月15日

第 72 号

編集・発行

愛知教育大学広報チーム

TEL 0566-26-2738

FAX 0566-26-2500



目次

- 行事予定(11月16-30日)
- トピックス
 - ・附属図書館で「尾張名所図会—江戸時代の旅案内—」展
 - ・租税教育に関するシンポジウム
 - ・大学見学に惟信高校保護者、安城南高校生徒が来学
- お知らせ・報告・投稿
 - ・本学留学生が豊田市立前林中学校の生徒と交流
 - ・文部科学省関係機関皇居駅伝で本学チームが健闘
 - ・協定校の米国ボールステイト大学附属パリス校児童が本学訪問
 - ・留学生とハロウィンパーティーを開催
 - ・「創基140周年記念講演会」を開催
 - ・2013年度招へい教職員の紹介
 - ・催しもの案内

行事予定(11/16-30)

- 16日(土) 秋祭(第一共通棟、第一・第二体育館など、17日まで)
- 19日(火) 役員部局長会議(13:00～ 第五会議室)
- 20日(水) 教員人事委員会(13:30～ 第五会議室)
財務委員会(15:30～ 第五会議室)
- 26日(火) 役員会(13:00～ 第五会議室)

トピックス

附属図書館で「尾張名所図会—江戸時代の旅—」展(11/1-19)

本学附属図書館が所蔵する「尾張名所図会」を紹介する展覧会「尾張名所図会—江戸時代の旅案内—」が、同館のアイ♥スペースで11月1日(金)から19日(火)まで開催されました。

名所図会は江戸時代後期に出版され、当時の各地の名所旧跡の沿革などを解説し、これに風景画が添えられた地誌風の読み物の総称で、約70種が出版されて人気を呼びました。尾張名所図会は、前編7巻、後編6



巻から成り、前編は天保15年(1844)、後編は明治13年(1880)に出版されました。今展は、3年前の前編の展示に続いて、後編から19の名所旧跡を厳選してパネルにして紹介。一宮真清田神社の参拝風景、庄内川の花見、清須花火など、当時のにぎわいや人々の活気ある生活ぶりなどを見てとることができます。現存する名所旧跡を情報図書課の職員が取材した写真や観光パンフレット、一口メモなども併せて展示し、当時と比較できるように工夫されています。また、原本はガラスケースに入れて展示されています。

同課の稲葉裕美さんは「図会の中から、面白そうな名所、現在でも



知られている神社仏閣、織田信長などの有名人ゆかりの場所などを選びました。現在の写真を添えたことで、身近に歴史的なものがあることや、江戸時代終わりごろのお花見や職人の仕事ぶりなど、その面白さを感じてもらえたら。また、大学図書館にこういう資料があることも知ってもらえる機会になれば」と企画の意図を説明。

尾張名所図会は、通常は鍵付きのキャビネットに保管されていますが、要望があれば閲覧も可能となっています。

租税教育に関するシンポジウム(11/8)

本学学生と税の専門家によるシンポジウム「なぜ今、租税教育なのか」が11月8日(金)に行われました。後期の2年生の社会選修・専攻の授業「税の仕組みから社会を捉える社会科授業づくり」の一環で、名古屋国税局税務署職員や学生ら約60人が参加しました。



真島聖子講師(社会科教育)がコーディネーターとなり、同国税局の伊藤嘉浩広報広聴室長や日本税理士連合会の林正巳・租税教育推進部副部長、学生ら8人がパネリストを務めました。

学生からは「サラリーマンなどは税が強制的に徴収され、確定申告などの必要性が少なくなっているのに、なぜ小中高校で租税教育が必要なのか」「これまでどのような租税教育が行われ、



どのような効果があったのか」「他の大学でも租税教育のための取り組みが行われているのか」などの質問が出されました。これに対して、伊藤広報広聴室長は「愛教大が(租税教育の取り組みの)先駆けです。安全で豊かな社会を維持・発展していくためには、小中高校時代から健全な納税者意識を養ってもらいたい。税の大切さや重要さを身につけてほしい」などと話しました。学生たちは「話を聞いて、租税教育の大切さが分かった」などと感想を述べて、シンポジウムは終了。引き続き、授業で租税教育について学んでいくことになっています。

大学見学に惟信高校保護者、安城南高校生徒が来学(11/12, 14)

愛知県立惟信高校の保護者23人と教員3人が、11月12日午後、大学見学に訪れました。

説明会では、大学紹介DVDと在学生からのメッセージ映像を上映。その後、職員が施設を案内し、共通棟やガラス工房を見学。ガラス工房では、佐々木雅浩准教授による実演が行われ、高温で溶かしたガラスが瞬時に固まり、形を変える様子を見入って、「愛教大は先生になるだけでなく、造形のコースもあるんですね」との声も聞かれました。国語の教員を目指す子どもを持つ保護者からは「愛教大を志望しているので、今日見学した様子を話してやります。あとは本人のやる気次第。頑張って入学してもらいたいです」と話していました。



11月14日(木)午前には、愛知県立安城南高校の1年生78人が、大学見学に訪れました。

第二共通棟422講義室での説明会では、職員及びDVDによる大学紹介、在学生からのメッセージの上映が行われ、生徒たちはメモを取るなどして、熱心に聞き入っていました。質疑応答では、「大学の広さはどのくらいですか?」「学生食堂でのおすすめメニューは何ですか?」「部活とサークルの違いは?」「愛教大の偏差値は?」「一日の授業はどれくらいの回数(時間)になりますか?」などの質問が次々にあり、担当課の職員がそれぞれ回答しました。この後、職員の案内

内による施設見学をして、学食での昼食を体験し、午後には別の見学先に向かいました。

なお、本学での高校からの大学見学の受け入れは11月までとしているため、これですべての日程を終了しました。今年度は愛知県内を中心に三重、岐阜、静岡、長野、富山の各県からの来学もあり、前年より10校多い27校の高校生、保護者、総計1547人を受け入れました。来年度は5月から見学を再開します。詳細は大学HPをご覧ください。

また、大学見学に協力いただいた学生、教員、職員の皆さんには、この場を借りてお礼を申し上げます。
(秘書広報課 大学見学担当一同)



お知らせ・報告・投稿

本学留学生が豊田市立前林中学校の生徒と交流(報告)

本学の留学生5人(教員研修生4人、特別聴講生1人)が10月18日(金)、本学で豊田市立前林中学校の生徒たちと交流しました。総合的な学習の一環として本学の留学生との交流を通じて、生徒の国際理解力の向上を図りたいという、同校の依頼により開かれたもの。2回目の今回は、6人の生徒が担当教諭の引率で来学しました。



前林中学校の生徒たちが司会・運営を行い、最初に留学生が母国を紹介。同校の生徒が日本の伝統の遊びを紹介し、留学生が体験。その後、中学校の紹介がありました。

今回参加した教員研修生は、現職の教員で、特別聴講生は教員が目標のため、自国紹介の時には生徒が興味を持ち、理解しやすくなるよう、様々な工夫を凝らした見事な発表を行いました。留学生は、生徒たちが発表している時は、真剣に話を聞き、また生徒たちが発表しやすくなるよう、頷いたり、リアクションをとるなどとても和やかな雰囲気です。

また、日本の遊びを体験している時には、中学生との年齢差を感じさせないほど楽しそうに、「かごめかごめ」「ゆびすま」といったゲームを体験して、前林中学校の生徒はもちろん、留学生にとっても非常に有意義な交流となりました。



(教育創造機構運営課 国際交流センター 伊藤英作)

文部科学省関係機関皇居駅伝で本学チームが健闘(報告)

10月27日(日)午後、皇居周回コースにおいて第21回文部科学省関係機関等教職員駅伝競走大会が開催され、本学からは男子、女子、それぞれ1チームが参加しました。

当日は、晴天ではあったものの北風がやや強く少し肌寒い天気でしたが、本学のチームは全員が力の限り、一周約5kmを走り抜けました。成績は、男子チームが参加60チーム中40位、女子は同11チーム中7位ということで、日頃の練習不足の割には、好成績であったと思います。

この大会は、キャプテンとして参加した林光春情報図書課長が本年度末で定年退職のためラストランということもあり、男子チームは「HAYASHI、走るから明日がある」と書かれた、一際目立った、お揃いのオレンジ色のTシャツで参加しました。





ただ、参加者の減少や皇居周辺の安全の関係から大会が今回で最後となることが、開会式で運営本部から発表され、林課長のみならず全員がラストランになってしまったことは本当に残念なことでした。国立大学等関係機関で、関東地区以外からの参加は本学と山形大学の2大学のみで、全国から多数の大学などが参加した頃を懐かしく思いました。なお、当日は濱田泰栄前総務課長と白石が応援しました。

本学からの参加者は次のとおりです。

○愛知教育大学A 田中哲之（教務）伊原雅人（人事労務）吉池和正（人事労務）繁野 哲（教務）林 光春（情報図書）

○愛知教育大学B 安藤栄里子（学生支援）生嶋亜樹子（教員）伊藤実彩（財務企画）落合咲貴（教務）
（理事・事務局長 白石薫二）

協定校の米国ボールステイト大学附属バリス校児童が本学訪問(報告)

附属岡崎小学校の姉妹校である米国・ボールステイト大学附属バリス校からの一行（児童14人、教員2人）が10月30日（水）午後、本学を訪問しました。

附岡小とバリス校は相互訪問による活動が続いており、今年はバリス校からの訪問団が10月25日（金）から11月1日（金）に来日し、附岡小の授業への参加や岡崎城の見学、ホームステイ等により活発な国際交流活動を行いました。



本学への訪問は、大学同士が交流協定校であることから計画され、一行は松田正久学長との懇談の後、空手部と茶道部の学生さんの協力により、日本文化（空手、茶道）の交流を行いました。特に空手では、松田学長も一緒に体験するなど、和やかな雰囲気の中で体を動かしました。

なお、通訳ボランティアとして、留学等で海外の生活経験がある学生さんから協力が得られ、様々な場面でサポートいただいたことで大変充実した内容となりました。

最後に、一行が予定どおり11月1日に笑顔でセントレアから帰国の途についたことを報告するとともに、協力いただいた学生の皆さんに、この場を借りてお礼を申し上げます。

（附属学校課 企画調整係長 中村章二）



留学生とハロウィンパーティーを開催(報告)

10月30日（水）、国際交流サークルKFAは留学生と一緒に大学内にある合宿所でハロウィンパーティーを開催しました。台湾やアメリカ、韓国、中国などの留学生9人と部員10人が思い思いの仮装に身を包んで参加しました。ビンゴゲームや仮装コンテスト、お菓子パーティー、鍋、写真撮影などを楽しみました。今回は、今期の留学生との初イベントだったため、ほとんどが初対面で全員が自己紹介。部員は自己紹介やゲームや、鍋をついたりする中で、すっかり打ち解け、楽しい時間を過ごすことができました。



最後の仮装コンテストの順位決めでは全員が声をそろえて同じ人を1位に挙げていたのが印象的でした。また、アメリカからやって来たアリーシャさん（ボールステイト大学）は初めて食べる日本の鍋を「とてもおいしいです」と堪能していました。



お互いの国のことについて話すので毎回新しい発見があるのも留学生とのイベントならではの楽しみです。今後もウェルカムパーティーやクリスマスパーティーなど留学生とともに楽しむイベントを予定しています。これからも活動を通して各国のことについて理解を深めていきたいです。

（国際交流サークルKFA 副サークル長 中川芙美香）

「創基 140 周年記念講演会」を開催(お知らせ)

今年、愛知教育大学の淵源である愛知県養成学校が1873年に開設されてから140周年にあたります。これを記念して、12月4日（水）に愛知県にゆかりのあるノーベル物理学賞受賞者の益川敏英博士をお迎えして特別講演会を開催します。

本学の歴史を振り返るとともに、これからの「学び」について理解を深めます。多くの方の参加をお待ちしています。

日 時： 12月4日（水）13：30～15：00

会 場： 愛知教育大学講堂ホール

テ ー マ： 「これからの教育と科学と語る」

講 師： 益川 敏英 博士

内 容： 益川博士と本学の松田正久学長の対談形式による講演会。

学生諸君へ「学びに対する意識」と「将来に向けた役割」についてのメッセージを発信します。

対 象： 本学学生・附属高校生・教職員および一般の方

参 加 費： 無料

申込方法： 会場準備の都合により、「事前申し込み」。(定員1000人、先着順)

申 込 先： E-mail：140kinen@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

Fax：0566・26・2170

(ファクスの場合、申込書は下記ホームページから印刷してご利用ください。 <http://www.aichi-edu.ac.jp/>)

問い合わせ： 学生・教職員： 学生支援課 吉田 TEL0566・26・2172

一般・報道関係：秘書広報課 小林 TEL0566・26・2738

2013年度招へい教職員の紹介(お知らせ)

本学では、国際交流活動の推進のため、2011年度から「協定校からの招へい教職員プログラム」を実施、今年度は9大学から9人の教職員の招へいします。

2013年9月から12月に招へいした(招へい予定含む)教職員をご紹介します。

① 劉 燦(Liu Can) 氏

(中国)南京師範大学外国語学院日本語教育学科 准教授

期間：9月6日(金)～10月30日(水)

本学共同研究者：岩満 賢次(障害児教育講座)

研究題目：「日本高齢者の福祉の研究」

② Joko Prasetyo 氏

(インドネシア)スラバヤ大学文学・芸術学部外国語学科 講師

期間：10月15日(火)～12月13日(金)

本学共同研究者：北野 浩章(日本語教育講座)

研究題目：「非漢字圏の日本語学習者の漢字学習」

- ③ 陳 怡君(Chen Yi-Chun) 氏
(台湾)台北教育大学 事務職員
期間：11月1日(金)～11月29日(金)
本学での所属：教育創造開発機構運営課(国際交流担当)
研修題目：「留学生に関する事項・協定校との学生交流，学術交流に関する事項」
- ④ 劉 徳華(Liu Dehua) 氏
(中国)湖南師範大学教育科学部教授 教授
期間：11月7日(木)～12月27日(金)
本学での所属：久野 弘幸准教授(生活科教育講座)
研究題目：“Teacher Training Program for Secondary Education at AUE”
- ⑤ 鄧 慧婷(Teng Hui Yu) 氏
(台湾)彰化師範大学 事務職員
期間：12月2日(月)～12月27日(金)
本学での所属：教育創造開発機構運営課(国際交流担当)
研修題目：“Understand how Japanese students get involved in academic study under multicultural learning experiences”

催しもの案内

◆秋のランチタイムコンサート

11月20日(水) 12:30～13:15 入場無料

附属図書館 アイ♥スペース

音楽教育講座大学院生によるコンサート。二重唱、ピアノ独奏、ソプラノ独唱、ピアノ連弾、マリンバ・トランペットデュオ。

問い合わせ：附属図書館 TEL 0566・26・2681

<http://www.auelib.aichi-edu.ac.jp/>

◆アイルランド音楽と文学の夕べ

11月21日(木) 15:00～17:00 参加無料

大学会館・中会議室

対象：本学学生・教職員、一般

アイルランド文学の紹介とアイルランド伝統音楽演奏家による生演奏。アイルランド大使館後援。



ゲスト演奏家：マーク・レドモンド氏。ダブリン工科大学 音楽・演技専攻、同大音楽修士号取得、2012年卒。全アイルランド音楽競技会 未成年部門優勝。アイルランド放送協会コンサート・オーケストラなど有名楽団の演奏会にソリストとして出演するなど多彩に活躍。

問い合わせ：外国語教育講座 道木一弘研究室

TEL 0566・26・2244

E-mail:kdoki@aecc.aichi-edu.ac.jp

◆第7回科学・ものづくりフェスタ@愛教大

11月23日(土) 10:00～16:00 参加無料、事前申し込み不要

第一共通棟、自然科学棟

対象：小・中学生、高校生、教員、一般

主催：教育創造開発機構 科学・ものづくり教育推進センター
松田正久学長によるランチタイムレクチャー、訪問科学実験、楽しいものづくり教室、
教材開発工房・教材創庫、天文教育講座、本学教員・学生・連携学校等の実験・体験・
製作などの28プログラムを実施します。

問い合わせ：科学・ものづくり教育推進センター

TEL 0 5 6 6 ・ 2 6 ・ 2 3 1 2

<http://www.step.aichi-edu.ac.jp/>

◆愛知教育大学天文台 第87回一般公開

11月23日（土）10：00～20：00 参加無料、事前申し込み不要

第一共通棟108室、自然科学棟5階 地学538、574室、屋上天文台

10：00～16：00「3D宇宙の旅」と「秋の星座物語」上映、天文工作教室「日時計を作ろう！」
10：30～12：00太陽観望会 14：00～15：30太陽・金星観望会 17：00～18：00天文身に講座「望遠鏡のしくみ～大学の望遠鏡が大きくなる～」講師・澤武文特別教授
18：00～20：00秋の夜長の観望会

問い合わせ：理科教育講座 天文学研究室

TEL 0 5 6 6 ・ 2 6 ・ 2 6 2 4

<http://www.step.aichi-edu.ac.jp/astronomy.html>

◆第1回愛知教育大学ダンス部公演「origin—ここから先へ—」

11月24日（日）17：00開場／17：30開演

刈谷市文化センター アイリス小ホール

入場料：前売り・当日とも900円

創部4年目のダンス部による初めての自主公演。第26回全日本高校・大学ダンスフェスティバル創作コンクール部門（大学）での特別賞受賞作品「mother～映し出される姿～」をはじめ、14作品を披露。体育選修・専攻の有志も出演。

問い合わせ：ダンス部 E-mail：auedanceclub@yahoo.co.jp

<http://aikyodanceclub.web.fc2.com>

◆文化系クラブ・サークル発表会「アカペラサークルによるコンサート」

11月27日（水）12：30～13：00 入場無料

附属図書館 アイ♥スペース

日ごろ活躍している本学学生の発表の第一弾。アカペラサークルPremier（ブルミエ）のユニットが出演。「トトロ」「青いベンチ」など7曲を披露。

問い合わせ：附属図書館 TEL 0 5 6 6 ・ 2 6 ・ 2 6 8 1

<http://www.auelib.aichi-edu.ac.jp/>

◆JICAボランティアセミナー～国際協力というシゴト～

11月29日（金）13：20～14：50 入場無料

第二共通棟 431講義室

対象：本学学生・教職員、一般。海外でのボランティア活動に興味のある方。

JICAスタッフ（元青年海外協力隊員）によるJICAボランティア事業の概要説明。本学現代学芸課程国際文化コース出身の元青年海外協力隊員、澤野紀子さんの講演（職種：村落開発普及員、国：ブルキナファソ）。2011年9月に帰国した澤野さんがフレッシュな体験談を披露。

問い合わせ：社会科教育講座 嶺崎寛子

TEL 0 5 6 6 ・ 2 6 ・ 2 5 0 1

E-mail：minesaki@aecc.aichi-edu.ac.jp

◆愛知教育大学創基140周年記念展示～師範学校期から刈谷市統合移転まで～（再展示）

11月29日（金）～12月9日（月）9：00～22：00（土日祝は11：00～17：00）入場無料
附属図書館 アイ♥スペース
本学の創基140周年を記念して、師範学校期から現在までを、写真パネルや資料で紹介。
問い合わせ：附属図書館 Tel 0 5 6 6 ・ 2 6 ・ 2 6 8 1
<http://www.auelib.aichi-edu.ac.jp/>

編集後記

今年度の高校からの大学見学が終了。今年に入試などの繁忙期を除いた5月～11月の受け入れ期間に昨年より10校多い27校が来学しました。担当課としては、高校生や先生、保護者の方々に愛教大の魅力を感じてもらえるようにと、毎回、尽力したつもりです。中でも、今年にはできるだけ訪れる高校を卒業した在學生に参加協力を仰いで、大学PRをしてもらい、大好評でした。こちらも改めて、「本学の最大の魅力は学生たち」と再認識。忙しい合間をぬって協力してくれた学生の皆さん、本当にありがとうございました。（K）

投稿のお願い

学内外の出来事（教育・研究・地域連携・国際交流・学内事業など）に関するニュースの提供をお待ちしております。
メール：kouhou@m.auecc.aichi-edu.ac.jp 編集責任者：総務担当理事 折出 健二